

恩納村博物館講座 第3回 「トウツルモドキでカゴ作り」を開催

11月22日、23日の2日間、恩納村博物館において博物館講座「トウツルモドキでカゴ作り」を開催しました。

トウツルモドキを材料としてカゴ作りを行うのは令和5年度から取り組み始め、今回で3回目となりました。それ以前はホウライチクという種類の竹を材料にして、カゴ作りを行っていました。しかし、材料として使える竹の確保の問題や編むための「ヒゴ」の状態にするための作業の難易度が高いという問題がありました。ヒゴにするには竹を縦に均等に割ったり、内側の白い部分を裂いたりする必要がありますが、この作業が初心者には難しいのです。そこで、講師と相談のうえ、比較的加工のしやすい、トウツルモドキを材料とすることにしました。カゴ作りの作業のうち、「8割がヒゴ作り、残りの2割が編み上げ」と言われるそうですが、実際に今回の参加者の皆さんも1日目のヒゴ作りに苦戦しつつ、編み上げて作品が完成すると非常に達成感のある良い笑顔が見られました。

竹などで作られたカゴやザル類は民具の中でも代表的な道具として、かつては生活必需品であり、消耗品でした。現代では生活の各場面で見られることが少なくなりましたが、工芸品として見直され、人気があります。植物を素材としたカゴは独特の味があり、実際に作ってみると非常に愛着が湧きます。工業製品が日常の道具の大半を占める現代ですが、こうした講座をきっかけに、改めて、先人たちの技術や知恵、生活について見直す機会となれば幸いです。



①トウツルモドキを4等分に裂く



②薄くするために内側を削る



③講師から編み方を教わる



④各自編み上げる



⑤持ち手を付ける



⑥皆で記念撮影

「令和7年度 沖縄県立博物館・美術館移動展in恩納村」が開催されます。

期間 1月16日(金)～2月11日(水) ※1月19日、26日、2月2日、9日は休館

会場 恩納村博物館 2階展示ホール・企画展示室 観覧料 無料

主催 沖縄県立博物館・美術館、一般財団法人沖縄美ら島財団

共催 恩納村博物館 協力 沖縄県立博物館友の会

※詳しくは沖縄県立博物館・美術館のホームページ
(<https://okimu.jp/event/1760237413/>)をご確認ください



イベントページ

